0501040 | **文　化**　　開講日：令和5年7月14日（金）

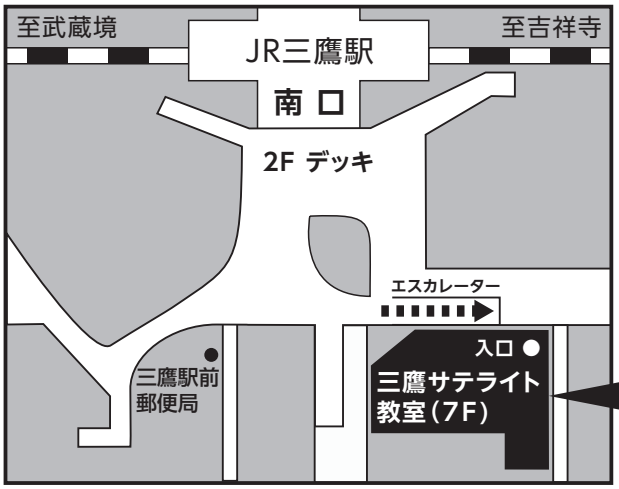
廃仏毀釈と明治時代の仏教・寺院

受講料（振込額）	12,500円				
必携テキスト	―――				
講座概要	曜　日	金曜日			日　程
	時　間	10:00～11:30			7月14・28日 8月4日 9月8・22日
	回　数	全5回	定　員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室　7F大教室			
講　師	日本女子大学名誉教授・東大寺学術顧問　永村 眞（ながむら まこと）				
	熊本県生まれ、早稲田大学政治経済学部経済学科卒、同大学院文学研究科博士課程中退、東京大学史料編纂所助手・助教授、日本女子大学文学部助教授・教授を経て日本女子大学名誉教授。文学博士（早稲田大学）、第２３回角川源義賞、第５５回密教学術賞を受賞。著書に『中世東大寺の組織と経営』、『中世寺院史料論』、『中世醍醐寺の仏法と院家』、編著に『醍醐寺の歴史と文化財』、『中世の門跡と公武権力』、『中世寺院の仏法と社会』等がある。				
内　容	明治維新は、日本の政治・経済のみならず社会制度に歴史的な大転機をもたらしました。そして明治政府がとった神仏分離などの宗教政策のなかで、古代から長年にわたり存続してきた日本の仏教も、激変の嵐をうけたのです。諸寺院に伝わる膨大な史料の調査のなかで、古代から近世にわたる日本の仏教・寺院と、近代以降のそれらとの間に、大きな違いがあることが知られます。そこで廃仏毀釈という大きな動きのなかで、日本の仏教・寺院が長年に継承してきた、修学や教化の制度や慣習、さらには寺院運営のあり方などのなかで、過去と比較して大きく失われたものが何であったのかを、主に寺院側に視点を置いて考えて見たいと思います。 〔参考図書〕『神々の明治維新－神仏分離と廃仏毀釈－』/ 安丸 良夫 著 / 岩波書店 / 1979年11月20日 / 924円 / ISBN 9784004201038				
	① 7月14日：「廃仏毀釈」前夜 ② 7月28日：明治政府の宗教政策－神仏分離令－ ③ 8月 4 日：鶴ヶ岡八幡宮寺の明治維新－寺院から神社へ－ ④ 9月 8 日：東大寺の明治維新－八宗兼学から華厳宗本山へ－ ⑤ 9月22日：醍醐寺の明治維新－離加末と修験道－				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
武蔵野大学
Musashino University
響き合って、未来へ。
MUSASHINO 100 UNIVERSITY 1924・2024

武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
TEL：042-468-3222
月～金（祝祭日除く）　9:30~16:30
http://lls.musashino-u.ac.jp/（エルエルエス）
武蔵野大学 生涯学習　検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
（三菱UFJ銀行のビル）

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。